

# 教育研究所だより

No.229 令和4年5月13日 【発行者】守山市教育研究所 所長 脇阪 久徳  
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)  
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237  
E-mail:kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp  
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu\_index.html

## 『世界の現状と私が大切にしている3つのキーワード』

守山市教育長 向坂 正佳



教育長に就任して早1年が経過しました。その間、世界では新型コロナの感染拡大に加えて戦争が起り、たびたびメディアで報じられる出来事に心を痛める毎日が続いています。この世界情勢の中、私が教育を進めるうえで、なぜ次の3つを大切なキーワードとしているのか、これからの子どもたちが進むべき方向と合わせてお話しさせていただきます。

1つ目は「利他の心」です。一般に人々は心のどこかで、「権力を得たい」「成功を収めたい」「たくさんのお金をかせぎたい」等と思っています。もちろん、それは欲求の一部ですが、行き過ぎると「自分だけが」とか「人一倍」という自分本位な心が強くなり、次第にひずみが生じてきます。そこで、その根本に「善なる動機で、世のため・人のために尽くす」という理念を持つことで、そのひずみを正し、それぞれの人生に広がりや深まりが出るのではないのでしょうか。私は、教育を通じて子どもたちが「利他の心」を育むことで、「人間として正しいことは何か」をしっかりと判断できる大人に成長してほしいと願っています。

2つ目は「調和」です。世界は調和で成り立っています。しかし、世界で有数の大国であるにも関わらず、一部の指導者が調和を無視して、ひたすら突っ走る姿に強い憤りと虚しさを感じます。それは、私たちの身近でもよくある「言ったもの勝ち」の風潮やインターネット上で自分から見た弱者を徹底的に叩く姿にも表れています。もしかすると、それは人間が古代から生存競争を生き延びるために使っていた、心を決定づけるある種の遺伝子の成せる業かも知れません。しかし、これから持続可能な社会を維持するには、それぞれが持つ強い意見や思いを、少しずつ譲り合い、折り合っていくことが重要です。すべての教育の中に、その場面が数多く見られるようになれば、人々がお互いの思いを共感し合い、明るい未来が垣間見える気がします。

3つ目は「つなぐ」です。これから世界が多様化・複雑化すればするほど、人々は守山市という狭い地域や日本という国の枠を大きく越えて、つながることになるでしょう。それは、新しい時代の幕開けであり、うまくいけば、言語や文化の違いを凌駕して、世界はより強い結びつきを得ることができると思います。しかし、一つ間違えば、現状が示すように誤った情報や極端な思想に翻弄され、地球全体が自滅の道を歩いていく可能性を秘めています。そのためにも、私たちはそれぞれが学習を通して作り上げたものや気づいたことをきちんと発信し、お互いが共有し合う中で、「誰一人残さず、すべての人々が安心して暮らせる社会」への道筋を、今から準備していく必要があります。子どもたちが安心して、認め合い支え合うためには、教育が極めて重要な役割を担っていると考えます。

21世紀は「人権の時代」だと言うのに、2022年に入り地球は大きな危機に瀕しています。私は、次世代を担う世界の子どもたちへの崇高な教育によって、平和で幸福な時代が戻ってくることを願ってやみません。

## 信頼され頼りにされる教育研究所を目指して

守山市教育研究所長 脇阪 久徳

中央教育審議会は、令和3年1月の「令和の日本型学校教育」の構築を目指しての答申で、今日の学校教育が直面している課題として、「学校の役割が過度に拡大していくとともに、直面する様々な課題に対応するため、教師は教育に携わる喜びを持ちつつも疲弊しており…」(一部抜粋)と指摘しています。また、4月 NHK クローズアップ現代では「あなたの先生は大丈夫？ 教師の過重労働その果てに何が」と題し、今後の学校教育の在り方に対して、危機感をもって報道されていました。加えて、新型コロナウイルス感染症は未だ終息を見ない状況にあります。学校における感染症対策などの業務は、教師の多忙化にさらに拍車をかけており、多くの場面で学校現場の大きな負担が浮き彫りにされています。

今日、学校教育が直面している様々な課題に対応するためには、教師がゆとりを持ち、子どもたちとしっかり向き合うことが土台となってきます。この答申では、今後の方向性として「連携・分担」による学校マネジメントを実現するとあります。先生方を応援することは、子どもたちを応援することに繋がります。

私たち教育研究所は、学校現場が力を存分に発揮できるよう少しでも力になることを目標に、先生方から「信頼され頼りにされる研究所」を、そして、保護者や児童・生徒から「よりどころとなる研究所」を合言葉に取組を進めていきます。

今年度も教育研究所の事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ◇ 令和4年度の研究に関して ◇

#### ○教育に関する調査研究 (担当：折木)

「支持的風土のある学級づくり

—話し合う力の育成を通じて—

#### ○指導力向上に関する研究1 (担当：中道)

「より多くの子どもが主体的に学ぶ

授業づくりの創造をめざして」

—守山式授業ベーシックステップ「めたふ」の実践—

#### ○指導力向上に関する研究2 (担当：折木)

「情報活用能力を育成する授業の在り方

—中学校社会科の実践を通じて—

(上記の3つの研究を進めてまいります。)

### ◇「ユニバーサルデザインの考えを取り入れた学級づくり・授業づくり実践ハンドブック」のPDFデータの掲載について◇

令和3年度指導力向上に関する研究2の研究成果物である上記ハンドブックのPDFデータを、「守山市せんせい情報共有の窓」に掲載させていただきました。日々の学級づくり、授業づくりにぜひ活用ください！

☆データ掲載場所☆

Google Chrome⇒ブックマーク⇒

守山市せんせい情報共有の窓 ⇒教育研究所

⇒ユニバーサルデザインの考えを取り入れた

「学級づくり・授業づくり実践ハンドブック」

※市内小中学校教員限定の閲覧となります。ご了承ください。



### ◇ 教育相談 ◇

不登校や行きしぶり等、子育てに関する不安や悩みの解決に向けて、一緒に考えます。一人で悩まねず、ご相談ください。お子さん自身に対する相談も行っています。

まずは、電話でご予約ください。

〈相談場所・時間〉

\*エルセンター3階

・月～金曜日 午前9時～午後5時

\*北公民館(守山市洲本町)

・月1回 午後1時～午後5時

(5/19、6/16、7/22、以降第3金曜日)

### ◇ くすのき教室(適応指導教室) ◇

不登校をはじめ、学校へ行きにくい状態になっている子どもたちが、学校生活へ復帰したり、社会的に自立したりできるように支援しています。学校や他機関との連携も行っています。

まずは入室について学校や教育研究所までご相談ください。

\*くすのき教室開室日

・月・水・木・金曜日

9:30～15:00 (学校休校日は除く)

・火曜日は学校チャレンジデー

◎教育相談・くすのき教室への

〈ご相談・ご連絡先〉

\*077-583-4237